



茎は四角形でとげがある。葉は対生し鋸歯がある。下唇に紅色の斑点のある唇形花をつける。

花期 7~8月

草たけ 30~80cm

生育地 日あたりのよい湿地や原野

いぬごま
(しそ科)



▼いたちささげ(まめ科)

葉は互生し、4~8枚の小葉からなる。つる性で、巻きひげで他物にからみつく。花は葉腋につき淡黄色から黄褐色にかわる。花の色がイタチの毛色に似ている。

花期 7~8月

草たけ 80~140cm

生育地 林のへり、道ばた、草原



ふしぐろせんとう
(なでしこ科)

茎の節のところが黒紫色、葉は対生。花は径5cm位で花弁は5枚。京都の仙翁寺に多くあったのでこの名がつけられた。

花期 7~9月

草たけ 50~70cm

生育地 山のこかげ、林のへり

いたちささげの花の拡大 ▼

